

## ■ 第9講

総合テーマ：『「女性活躍」が普通になるために自治体に求められること』

日時：2019年12月24日（火）

会場：名古屋栄ビルディング 特別会議室（12階）

■講師：中野 円佳 氏（ジャーナリスト／東京大学大学院博士課程（教育社会学））

■テーマ：『日本の「女性活躍」はいま』



統計上、共働き世帯が専業主婦世帯を大きく上回り、女性就労のM字曲線も解消しつつあります。しかし、就労の実態を詳細（平成22年出生児）に見ると、出産1年前に有職率62.1%のうち、常勤が38.1%だったものが、出産半年後には、有職率35.4%、常勤者25.1%に激減。子どもが小学2年生になって、有職率72.1%となるものの、常勤は26.2%、大半はパート・アルバイトです。この数値が日本の女性活躍の現状を示していると思います。

女性が活躍するため、働きながら家事・育児もできるような正社員の働き方を変える、多様な働き方に対する社会保障の充実、家事やケア・学校業務の社会化等が今の日本に必要です。日本企業で女性が活躍できない理由として、企業内でのWill、Skill、Networkの不足が指摘されるほか、転勤に当たっても、家族ごとに様々な要望があるにも関わらず、企業対応の現状は不十分であり、転勤の在り方そのものについても共働きができるようキャリアを上司とする合わせる風土の確立などが求められます。

■講師：塚本 貴子 氏（刈谷市市民活動部市民協働課 主査）

■テーマ：『刈谷市における男女共同参画社会実現に向けた取組』



男女共同参画社会実現のため、市は事業主として率先垂範する組織内の取組（刈谷市特定事業主行動計画）、社会に向けて男女共同参画社会づくりの諸施策の展開の2本柱を推進しています。

男女行動参画施策の事例として、大学生、高校生を対象として「キャリアデザインイベント」を開催し、女性活躍の意識啓発、進路選択やライフイベントなどについての知識や情報提供をするほか、小学4～6年生の女子児童を対象とした固定的な性別役割分担を取り払う「ガールズカレッジ」、女性の起業・女子団体の創設を促す「女性の一步応援プロジェクト」などを実施しています。

男女共同参画社会実現には市民の意識改革が不可欠であり、刈谷市で開催する日本女性会議2020では、ライフ・ワーク・バランス、地域での女性活躍、子ども・子育て、多文化共生、性の多様性などの分科会・テーマによる幅広い事業内容を予定しています。